

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	地域健康増進促進事業	担当部局庁	健康局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度	担当課室	がん対策・健康増進課	がん対策・健康増進課長 椎葉 茂樹				
会計区分	一般会計	施策名	I-10-2 生活習慣の改善等により健康寿命の延伸等を図るとともに、がんによる死亡者の減少を図ること					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	健康日本21(第二次)の基本的な方向として掲げている生活習慣病の発症予防・重症化予防の徹底に関し、自治体や民間団体などの連携による地域のソーシャルキャピタルを活用したモデル的な取組を支援し、優れた取組を横展開することにより、健康寿命の延伸や健康格差の縮小を目指すなど、地域全体の活性化を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各自治体・各民間団体の創意工夫により、地域のソーシャルキャピタルを十分に活用することで、国民一人一人の健康意識を醸成・向上させ、生活習慣の改善等につながる行動を促すような取組や効果検証に対し、国庫補助を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算				318		
		補正予算						
		繰越し等						
	計					318		
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	健康格差の縮小		成果実績	—	—	—	—	
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	実施自治体、団体数		活動実績 (当初見込み)	自治体、団体	—	—	—	—
					—	—	—	10
単位当たりコスト	— (円/)		算出根拠	自治体、団体により事業規模が異なるため、単位当たりのコストの算出は困難である				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	地域健康増進促進事業		318	「新しい日本のための優先課題推進枠」318				
	計		318					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	健康格差を縮小するため、他の自治体に参考となるモデルケースが必要であることから、国が支援し、国民にニーズのある事業を行う必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	健康格差を縮小するため、他の自治体に参考となるモデルケースが必要であることから、国が支援を行う必要がある。	
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	健康格差を縮小するため、他の自治体に参考となるモデルケースが必要であることから、国が支援を行う必要があり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	健康格差を縮小するため、効果のある施策についてモデルケースを策定することで、健康増進事業の好事例を広げていく必要がある。				
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
—	生活習慣病の発症・重症化予防は、広く国民のニーズがあるものであるが、効果的・効率的な執行となるよう努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
—	—				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

厚生労働省
318百万円

事業計画の審査、指導等

【補助:公募】

【補助:公募】

A. 市町村

B. 民間団体

〔 地域健康増進促進事業の実施 〕

〔 地域健康増進促進事業の実施 〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0.0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		1.5	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0